



## 平成 14 年度を振り返り

会長 中田 秀雄

同時多発テロ (Attack911) 後の一次変動から二次変動の段階に入り、新たな内外の諸問題が続発する中であって、私たちの国際交流協会は、各位、各部門の努力と協力により地道ながら着実に質の向上を目指しての基礎固めができつつあると思います。

外部からは、ちば国際コンベンションビュローを始め、野田市教育委員会、同社会福祉協議会、東京理科大学、南部及び柳沢小学校等、又多くの会員外の個人からもご支援を頂くことができました。合わせて感謝いたします。

年度始めに、会員の増加、友好都市活動の基礎作り、国際化教育の推進の三つの重点目標を掲げましたが、社会環境の問題があったとは言え、決して満足できる成果が得られるには至らず、今後も目標達成に向かって更なる努力が必要と思います。

早いもので、協会も学齢で云えば6年生、来年度は中学生になり、大きな節目である10周年も間近になりつつあります。そろそろ私達の活動も受信型から発信型へ切り替える時期にさしかかったのではないのでしょうか。

皆様のご協力で内外のより多くの人々と国際交流を楽しみましょう。

### 事務局

局長 桑原 時夫

月1回の運営委員会では、意志の疎通が十分に図れないので、それを補うために、メールやFAXを駆使して、連絡を密にし、国際交流協会の活動・情報の交差点としての役わりを果たしてきました。

来年度の活動が一層充実・発展いたしますよう、皆様と手を携えて精進したいと思います。

学校の協力を得て、推進したく思います。一つ国際交流の基盤でもある友好都市プログラムについては、はかばかしい進展はありませんでした。性格上時間のかかるものと思いますが、着実に推進し、他の多くの国際交流協会の様に発展させたく努力したいと思います。

### 総務部

副会長 古川 滋

部の責任者であった間中部長が意志半ばで急に他界され、広報担当リーダーの私が後を継ぎ、多くの人の協力を得て、機関紙ファンファレ・ニアを4回、ミニ通信を毎月、発行する事ができました。又、ホームページも今更新中です。他の国際交流協会との交流として沼南町・鎌ヶ谷市・我孫子市・吉川市などの祭りに参加し、東葛地区国際交流協会連絡協議会への出席、さらに11月10日(日)には手賀の丘少年自然の家まつりでパネル展示とロックソーランを行ないました。

### 友好交流部

部長 小川 好江

今年度は、今までに無いホストファミリーとして市民参加による15名に及ぶホームステイ受け入れ、南部小学校130周年記念であるワールド集会、柳沢小学校国際理解教育への参加、福田中学校の「留学生は先生」等、学校教育へ重点を思案し、質の向上と、多くの協会の参加に努力してきました。そして、私達スタッフも多くのことを外国人講師、生徒、各学校の先生から学ぶことができました。又、何人かからは感謝と感激を綴った報告を頂き、学校からも感謝のお礼がよせられています。

今後は、更に質と量の両面の向上を目指して、教育委員会と

### イベント部

部長 桑原 時夫

1. 躍り七夕・七夕まつりパレード参加 (8月3日) 57名  
〔浴衣着付け・躍り練習 (7月21日 中央公民館)〕  
ホームステイで野田市に来た家族の方の参加もあった。
2. ガーデンパーティ (9月29日 野田市民会館)  
・日本文化の紹介 (茶道、民謡、着付け、手焼き煎餅の実演等)  
・外国食文化の体験 (韓国のチヂミ、インドのカレー)
3. 自然の家まつり参加 (11月10日 手賀の丘少年自然の家)
4. 料理教室 (11月24日 東部公民館) インドカレー  
・会場に入りきれないほどの大盛況。改めて日本人はカレーが大好きなのだと感じました。
5. 市民ふれあいハート祭り (11月30日)  
・文化会館の入り口ロビーで協会活動写真の展示でPR
6. 餅つき大会 (12月22日 東部公民館)  
・年末恒例の行事となった感があります。
7. うららショッピングモール参加 (1月26日)  
・東京ベイ信金の駐車場で、協会活動写真の展示でPR
8. バスハイク (3月2日 房総のむら・風土記の丘等)

一年間でこんなにたくさんのイベントを実施することができました。来年度はもっと工夫を加え、協会のPR・発展に寄与できるようにしたいと思います。

皆様のご協力的なご協力に感謝いたします。

部長 吉岡 早苗

副部長 東原 聖二

平成14年度も残り少なくなってきました。私たち語学学習部日本語教室は、毎週の活動ということで時間的に負担の重なりがちな部にもかかわらずスタッフの協力と努力で14年度も活動を続けることが出来ました。負担が重い反面、毎週通ってきてくださる学習者の皆さんと声を掛け合い、少しずつ上手になっていく日本語で話をする時など、時間をやりくりしながらも続けていてよかったと感じることが出来ます。

学習者の方々も帰国したからとお土産をくださったたり、日本語学習以外の相談をされたりと、スタッフと学習者の間に目に見えない信頼の絆が出来つつあるなど感じる事が度々あります。また、国際交流協会主催のさまざまな行事に参加し、日本の文化や伝統を学んでいただく機会や、バスツアーなどを通して日本語教室以外の人々との交流もできたように思います。

この一年間に、当コースに参加した学習者の総数は18名に達したものの、現在も定着して学習を続けているのは、8名である。この事を「8名しか残らなかった」と受け取るか、「8名も残った」と受け取るかによって評価は全く逆になるが、私達は後者のプラス評価をしている。だが、私達が一番残念に思う事は、長続きしなかった理由の中で、学習の意欲を無くして辞めて行った人達の事である。意欲を無くした原因は、多分、授業が楽しくなかった為かと思われる。この「楽しい授業」と言うのは、言うのは簡単だが実行はかなりの難問である。

いかにしたら「楽しい授業」になるか、スタッフ間のミーティングや諸先輩のアドバイスの取り込み、講習会への積極的参加等、更に今年度は、野外教室(清水公園)や押し花教室、室内での親睦会等、色々な事を試みたが、今後も更なる工夫と努力を重ねる事が必要ではないだろうか。

## ※※※※※※※※※※ 活動のあれこれ ※※※※※※※※※※

### 南部小ワールド集会の感想集

南部小学校 特活部

#### 1. アメリカ United States of America

ジュリアーノさんの自己紹介からはじまり、自分の身の回りのことからアメリカについてお話をして下さいました。時々、英語も混じり、これからの中学に行く子ども達にとって、とてもよい動機付けになったと思います。子ども達も、たくさんの質問をしていました。(5、6年生)

#### 2. インド India

初めは、少し雰囲気がかかったのですが、具体物(洋服など)を見せていただいていたからは、雰囲気も和み、調べてきたことを発表することができました。また、質問に対して親身に答えてくれました。(5、6年生)

#### 3. バングラデッシュ Bangladesh

ちょうどラマダン、断食の日だったので、その話をしていた。しかし、宗教的なことだったので、少し難しい話になってしまったが、子ども達も楽しく過ごせた。(3、4年生)

#### 4. オーストラリア Australia

たくさんの具体物(写真・お金)を持ってきていただき、子ども達の興味関心が深まりました。子ども達はいろいろと準備して下さったG・T(ゲストティチャー)の方に心をうたれてしまいました。(5、6年生)

#### 5. 韓国 Korea

いつもにこにこの青戸さんが、日本人よりずっと美しい日本語でみんなに話しかけてくれました。子ども達も、耳を澄まし、目を光らせ、聞いていました。「私を町で見かけても、誰も外国人とはおもわないでしょ。日本人と同じ顔をしているの。韓国へは2時間でいけるのよ。でも食べ物から字まで違います。」と

云って、食事の仕方を教えてくれたり、ハングル文字で挨拶の文字を教えてくださいました。例のごとく、美しいチマ・チョゴリを着せてくれ、不思議なお面をかぶせてくれました。お礼に関口先生がアコーディオンをひいて、皆で和やかな交流でした。

(3、4年生)

#### 6. 中国語Ⅰ教室 China Class I

1から10までの中国語を教えていただいたのを、子ども達は喜んで覚えることができました。次の日クラスの子も達にも得意そうに教えていました。(1、2年生)

#### 7. 中国語Ⅱ教室 China Class II

子ども達は、言葉に興味を持っていました。カードを使って言葉を当てるゲームはとても意欲的に参加していました。また、学校の様子、特に成績については、日本と違ってとても厳しいことを知り、驚いていました。(5、6年生)



#### 8. フィリピン Philippines

写真や絵葉書を使って、フィリピンの食べ物(果実)や乗合バスなど、子ども達は興味深く、楽しく、知ることができたようです。

ゴム跳びやバンブーダンスなどは、楽しくて時間が足りなく「もっとやりたい」と、子ども達からの声が多く聞かれたので、もう少し5、6年生は時間が長くて良かった。

(5、6年生)

## 9. マレーシア Malaysia

今までマレーシアについては、ほとんど知りませんでした。この集会で、いろいろなお話を聞いて、マレーシアの文化の様子が分かりました。物価が安いこと、生活が豊かであることに驚きました。機会があったら、また、お話を伺いたいです。

(5、6年生)

## 10. モンゴル Mongolia

日本の遊びと違ったモンゴル独特の「羊の骨を使ったゲーム」や、1本の指で実施する「ジャンケン遊び」など、子ども達は、とても楽しく参加することができました。

また、学校まで馬で通ったり、給食は自宅へ戻ったり、いろいろな生活ぶりも分かりよいひと時を過ごすことができました。

(3、4年生)

## 野田市立柳沢小学校の国際理解教育

友好交流部長 小川 好江

野田市教育委員会を通して依頼があり、又学校との事前打ち合わせを行い、学校側の意図を確認しながら参画しました。学校からの要望はキリスト教、回教（イスラム教）及び儒教圏からの講師派遣でした。そして、特に国旗に関するお話など具体的な要望が示され、対象児童も6年生の57名とのことなので、講師の選定も絞れ、プログラムの作成も比較的容易でした。

講師は、アメリカ（USA）、韓国及びマレーシアから人選し、特にはじめの講師には、趣旨を良く説明して事前準備を整えてもらい、又スタッフ陣も協会各部の協力で構成しました。

2月4日の国際理解授業では、幸い各教室も盛り上がり、2時間の授業時間が足りないくらいでした。学校からも感謝され、各講師からも感激と良い経験をしたと云うeメールが寄せられつつあります。

この程度の規模ですと対象も限られ国際理解教育の一つの適切な選択肢かと思われま

各部のご協力有り難うございました。



## 日本語教室における教育課程の実習を終えて

共立女子大学4年生 市川 真理

私は、小さい頃から教師になることや異文化交流に興味があり、その両要素を持った日本語教師という仕事は大変魅力的な職業です。17歳の時に行ったアメリカでこの仕事を知り、以来それを目標に大学に行き、今まで机に向かって勉強してきた私にとって、実習は毎日が発見ととまどいの連続でした。

英語圏以外の生徒さんに対して媒介語が使えないこと、日本語特有のあいまいな表現の難しさ、ボランティアである以上十分とはいえない教材のみで教えていく苦労、生徒さんそれぞれの抱える私生活の問題点など、想像していた以上の難題を目の当たりにした時、先輩ボランティアの先生方は、丁寧にアドバイスして下さいました。

私は、大学卒業後一年間アメリカの教育機関で日本文化を教える予定ですので、今でも継続して日本語教室に通い授業体験からいろいろ学ばせてもらっています。今の自分より一回りも二回りも大きくなってから「夢の実現」に挑みたいと思います。



## 関宿町二川中学校一年生

坂本デージーさんへの日本語支援

語学学習部 副部長 東原 聖二

二川中学校から坂本デージーさん（フィリピン生まれ、女子、来日1年経過）に日本語を教えて欲しいとの要請があり、語学学習部は、昨年6月から週1回の日本語支援を開始した。期間は1年間、教材は「みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ」授業時間は学校の総合学習時間の1時間半を当て、当方は6名のローテーションで対応となった。スタート時の彼女の文章は「今日は また国語あったから また かんじの れんしゅう やないといきないから やだな。」であったし、「高い」の反対は「ちいさい」と答える程度の日本語であった。しかし、8ヶ月後のこの2月、彼女の文章は、「今日は 体いくの時間 に 15分間ぐらい はしって、30分 ダンスをして、おわって から・・・小島先生 の おてつだい を しました。」と、上達振りは目覚しく、友達からも誉められたと嬉しそうに報告がある等、私達の支援が功を奏したといえそうだ。この分だと、今後の授業はもっとハイペースで進めることも可能であろうと、今、検討中である。

## インドカレー教室に参加して 石塚 昭二

11月24日、美味しいカレーが食べたいと言う家族の要望もあり、応募させて頂きましたが大勢の方々が参加されたのには驚きました。又、本場の先生に教われるとは思っていませんでした。

当日、何が驚いたかと言うと水を使わずに煮込むことでした。味は少々辛かったが美味しかったです。

デザートについては、栄養満点と思いましたが、私には合いませんでした。しかし、我々が工夫をすれば、私の得意料理になると思います。

今回参加し、大変勉強になり多少なりともインド食文化についても理解する事ができました。



## 餅つき大会に参加して 福田 暉

市報で「餅つき大会」が12月22日(日)に開催されることを知り、初めて参加しました。当日10時に東部公民館に行ったら、既に会員の方が餅米を蒸していました。杵、臼の準備も済んでいました。外国の方は、ブラジル、フィリピン、中国、アメリカ等から来ている方々でした。しばらくして、餅米も蒸け、いよいよ餅つきが始まりました。先ずイベント部の方が慣れた手さばきで先鞭をつけ、その後、外国の方や、日本人が代わる代わるつきました。私もつかせていただきました。思ったよりも杵は重く、10回ぐらいついて交代しました。

きなこ餅、あんころ餅、大根おろし餅、味噌汁、沢庵こうご、ほうれん草を頂き、その美味しさといったら頬つぺたが落ちそうでした。食べながら、外国の方々と会話をして親善を深めました。有意義なひと時を過ごしました。

今後は、会員になり、少しでも国際交流のお役に立てればと考えています。

☆☆☆ 投稿 紀行文 ☆☆☆

## 悲しみのニューヨーク

吉岡 早苗

あの悲惨なテロから1年、いつになく厳しい荷物チェックの後にニューヨークへ向け機上の人となる。

グランドゼロは金網に囲まれた巨大な工事現場と云った様子、ただ違うことは、ボードにびっしり書き込まれた行方不明、死亡された方々の名前を静かに見上げる人々がいること、道を挟んだ教会の周辺には数え切れない追悼の品々、Tシャツ、帽子、千羽鶴、手紙、カード、写真、子供から父親に宛てた手紙「お父さん愛してる」が切ない。妻から夫へ、そして恋人へと、かけがえのない人々を失った悲しみが一つ一つの品々から伝わってくる。

町の消防署には必ずといっていいほど行方が分からない数名の消防士の写真と花が「行方不明の私達の友達、私達はあなたを決して忘れない」というメッセージと共に飾られている。ビルの壁には灰まみれになって逃げるビジネスマン、消防士に抱き抱えられている神父、ビルから立ち上がる煙などの大きな写真が貼られてある。地下鉄の駅の構内に追悼の花々、それらからニューヨーク市民の悲しみと怒り、決してこの出来事を忘れないという強い思いを感じた短いニューヨーク滞在でした。

## 編集後記 古川 滋

皆様方の活発な活動状況や、お寄せいただく声などを、より多くの人達に、どのようにしたら、うまくお伝えできるのだろうか、編集のあり方にあれこれと取組んでいますので、次年度も皆様のご協力をお願いします。

### ◆協会案内◆

私たちといっしょに国際交流しましょう。

どなたでも気軽に参加できます。お待ちしております。

【年会費】個人会員 2,000 円 / 家族会員 3,000 円 (家族何人でも)

賛助会員 (1口) 10,000 円 / 学生会員 1,000 円

■野田市国際交流協会

〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1

野田市役所 企画調整課内

TEL: 04-7123-1065 FAX: 04-7122-1557

URL: <http://www.vivid-net.ne.jp/~nia/>